

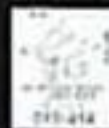
HG
GUNDAM SEED

0000
DESTINY

FORCE IMPULSE GUNDAM

ZGMF-X56S/α

1/144 SCALE MODEL HG GUNDAM SEED-17



BAN
DAI



HG
GUNDAM SEED

FORCE IMPULSE GUNDAM

ZGMF-X56S/α フォースインパルスガンダム

1/144 SCALE MODEL HG GUNDAM SEED-17

FORCE IMPULSE GUNDAM

C.E.72-3-10。プラント、連合間で締結された停戦条約(通称ユニウス条約)後にザフトが開発した「セカンドシリーズ」と呼ばれる新たなMS群の一種がインパルスガンダムである。この条約の条項の一つである「MSや軍事関係へのNジャーマーキャンセラーの使用の禁止」は両軍部、特にフリーダム・ジャスティス以降に核種間MSの量産を前提としていたザフト設計陣に大きな影響をもたらした。これを解決するために同設計局はかねてから実験中であったエネルギー供給システム「デュートリオンビーム送電システム」を実用化、採用することになった。これは外部の動力源からの電力を指向性の強いビームに変換し機体に送る機構である。またPG装甲を改良したVPS装甲(この機体はストライクルージュに使用されており、停戦のうちにオーブから流出した技術であると思われる)や急激な戦局の変化に武装の換装で対応する為の「シールドシステム」、更に戦闘機に変化する独立型のコクピット「コアスプレッダー」等、両陣営を通しての在来型MSと比べて大幅に進化した機体となり、ユニウス条約のもう一つの大きな制約であった「MSの保有機数の制限」をクリアする機体(単機で従来のMS複数分の戦力を有する)となった。

BANDAI 2004 MADE IN JAPAN



フロント

リア

ミネルバ

ザフトがセカンドシリーズMSの母艦として建造した新艦。内部にデュートリオンビーム発電機を持つ。戦闘機としての能力も高く、重力下での戦闘、単艦での大気圏突入、海上航行など、類を見ないマルチタスクを誇る。

※この商品には、「HG フォースインパルスガンダム」が1セット入っています。

シン・アスカ

インパルスガンダムの正式パイロットであるシン・アスカは怒りの人である。71-6-15の連合軍によるオーブ侵襲作戦の際に目の前で両親と妹を失った。その後プラントに渡った彼はアカデミーに入学、パイロットとしての資質を開花させる。卒業後、彼を見いだした現職高評議会議長ギルバート・デュランダルの後押しもあり、ザフトの未来を担うであろうセカンドシリーズMSのパイロットとなる。彼は何故、憎むべき戦争の当事者になろうとしたのか?それは握りしめられた妹の目見のみが知っているのかもしれない。

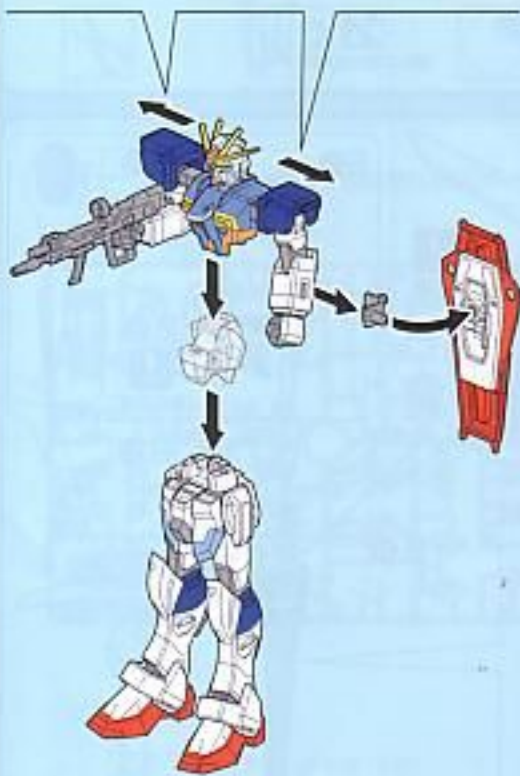
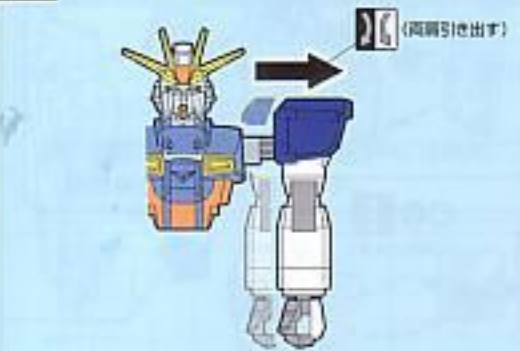


0131414

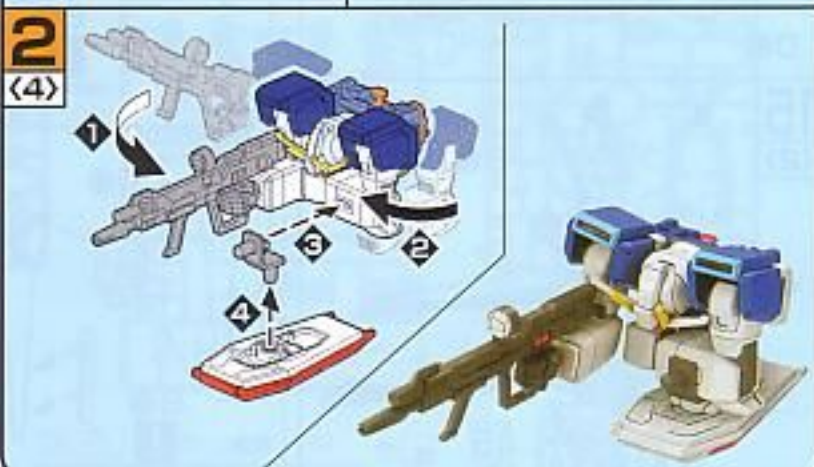
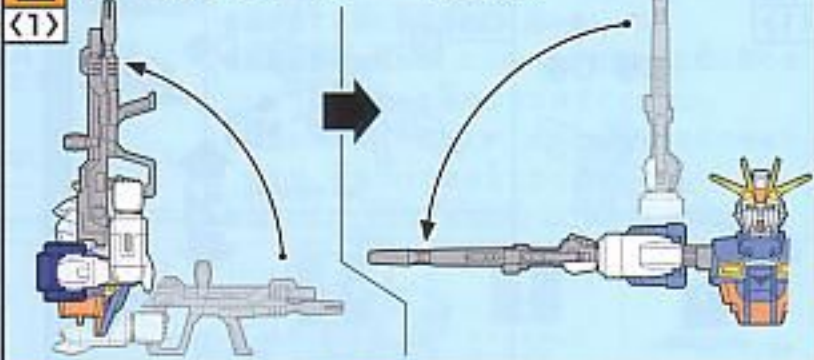
**BAN
DAI**

Scanned by Dalong.net

1 《インパルスガンダムの分離》



2 《チェストフライヤーへの変形》



3 《レッグフライヤーへの変形》



※この商品は使わないパーツがあります。パーツリストで確認してください。



MA-BAR72

高エネルギービームライフル

マティウスアーセナリーMAの最新モデルビームライフル。フリーダムやジャスティスの兵装であったMA-M20ルプスを改良し、デュートリオンシステム仕様に変更した。当初ビーム兵器に関しては遅れを取っていたザフトだが、ここに来て遅さを償った感がある。

MA-M941 ヴァジュラ ビームサーベル

フォースシールドに装備された2本のビームサーベル。ユニウス条約によりミラージュコロイドの使用が禁止された為、その組織固定技術の応用であるこの兵装も条約違反ではないがとの議論が起きた。(結局、北用技術まで禁止するのは高降着によってあまりにリスクが高かったため、解禁の遅いということで有償無罪にされた。)その際に開発された新技術の一部を導入し、より強力な出力をもつことになった。

フォースインパルスガンダム

型式番号: ZGMF-X56S/a

全高: 18.41m (17.76m) 重量: 78.30t (63.54t)

武装: MMI-GAU25A 20ミリCIWS

M71-AAK フォールディングレイザー対装甲ナイフ

MA-BAR72 高エネルギービームライフル

MMI-RG59V 機動防盾

MA-M941 ヴァジュラビームサーベル

MMI-RG59V 機動防盾

フォース・ソード・プラスト形態での共通のビームコーティングシールド。機構に合わせて中央部がスライドし大きさが変化する。

MECHANISM



フォースシールド

各シールドは通常、シールドフライヤーと呼ばれる無人の牽引機によって射出される。このノーズコーン型の機体はシールドを切り離した後は自動で帰艦に帰還する。フォースシールドは高機動戦闘を想定した装備であり、無重力、重力下を問わずその機動性を発揮する。

コアスプレnder

型式番号: YFX-M55

武装: MMI-GAU19 20ミリ機関砲

GF908 航空ミサイルランチャー

AGM33 レディバード誘導ミサイル

コアスプレnder

インパルスにのみ実験的に採用された独立型コックピット。戦闘力はそれほどではないが、パイロットの生存率の向上や特殊な状況下での戦術的拡大等の役目を担っている。



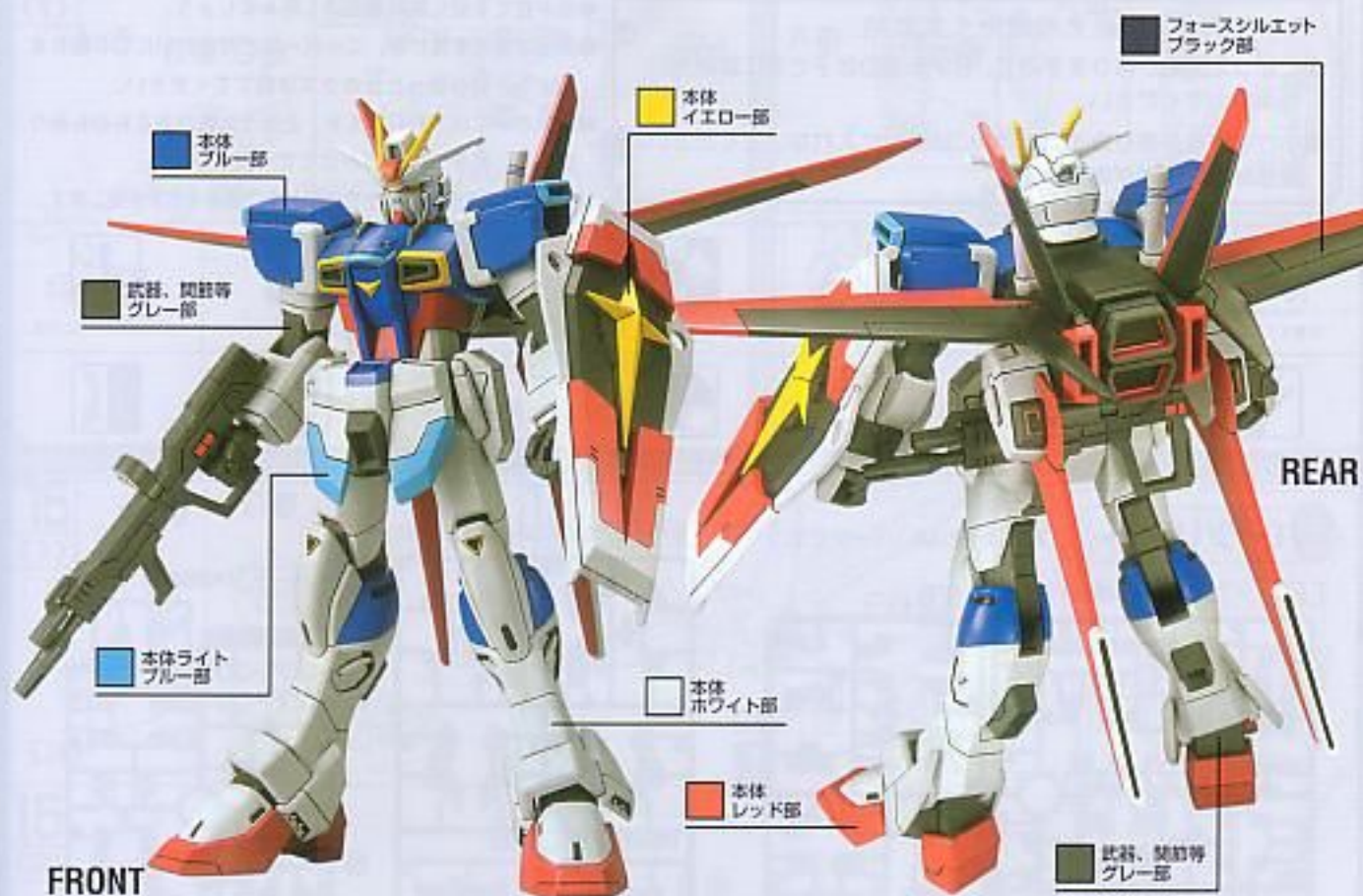
チェストフライヤー・レッグフライヤー

コアスプレnderと合体し、インパルスガンダムになる上半身と下半身のパーツ。

設計者に言わせると、「全く新しい効率の良いMSシステムである」らしい。

※写真の完成品は塗装してあります。

FORCE IMPULSE GUNDAM



COLOR GUIDE

●本体ホワイト部:

ホワイト (100%)
+ ニューラルグレー (少量)

※または、ガンダムカラー
ホワイトS

●本体レッド部:

モンザレッド (100%)

※または、ガンダムカラー
レッドA

●本体ブルー部:

インディブルー (60%)
+ コバルトブルー (40%)

※または、ガンダムカラー
ブルー-34

●本体ライトブルー部:

スカイブルー (80%)
+ ホワイト (20%)

※または、ガンダムカラー
ブルー-35

●本体イエロー部:

イエロー (80%)
+ オレンジイエロー (20%)

※または、ガンダムカラー
イエロー

●武器、関節等グレー部:

ニューラルグレー (80%)
+ ミッドナイトブルー (10%)
+ ブラック (10%)

※または、ガンダムカラー
グレー

●フォースシルエットブラック部:

ミッドナイトブルー (80%)
+ ネービーブルー (20%)

●ビームサーベルピンク部:

蛍光ピンク (100%)

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、『機1698クレオス』
発売の、ガンダムカラー「1」フォースインパルスガンダム」用、そ
他カラーセット」をお選びください。

IMPULSE GUNDAM REAR



FORCE SILHOUETTE



DETAIL



